

第15単元 分数①

問題番号	配点	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	30 (各5)	① 1、3、1 ② 分母、分子 ③ 7	〔知技〕分数の意味や構成を理解している。	分数は1を何等分かした1こ分を単位とし、その何こ分で表すことを確認する。
②	10 (各5)	① $\frac{2}{5}$ ② $\frac{4}{7}$	〔知技〕1を等分し、それを何か集めた大きさを分数を用いて表すことができる。	まず、1mや1Lを何等分しているかをおさえ、その何こ分あるかを確認する。具体物や図を使って理解させたい。
③	20 (各5)	① > ② = ③ < ④ >	〔知技〕同分母の分数どうし、分母が10の分数と小数の大小関係を理解している。	分母が同じ場合、分子の数が大きさが決まること、 $\frac{1}{10}=0.1$ をおさえ、数直線を使って考えさせるようにする。
④	30 (各10)	ア $\frac{1}{6}$ イ $\frac{4}{6}$ ウ $\frac{10}{6}$	〔知技〕数直線上に表された分数を読み取ることができる。	まず、1を何等分しているかに着目する必要がある。実際に数直線にかく活動をできるだけ取り入れたい。
⑤	10 (各5)	① $\frac{7}{8}$ ② $\frac{4}{6}$	〔知技〕分数の加法や減法の意味を理解している。	単位分数の何こ分で考えると、整数の計算に帰着できることをおさえる。

第15単元 分数②

問題番号	解 答	評価規準	つまずきと指導の手だて
①	(順に) 6、 $\frac{1}{6}$ 、5、 $\frac{5}{6}$	〔思判表〕分数の意味や構成を説明している。	1mを何等分しているかで、単位とする分数の大きさが決まる。その何こ分あるかで、分数の大きさが表される。このことを確認する。
②	(順に) $\frac{1}{7}$ 、2、5、 $\frac{1}{7}$ 、5、 $\frac{5}{7}$	〔思判表〕分数の構成に基づいて、分数の加法の計算の仕方を説明している。	分数の加減法は単位分数の何こ分で考えることを確認する。200+300や0.2+0.3も同じ考えで2+3とみられることをおさえるとよい。

▶思考力・判断力・表現力の評価

評価	A	B	C
正答数	7問以上	6～4問	3問以下

▶主体的に学習に取り組む態度の評価

評価	A	B	C
選択内容 記述内容	3項目とも意欲的であり、感想とさらに学習したいことの2つの観点で書かれている。	3項目ともおおむね意欲的であり、感想とさらに学習したいことのどちらかの観点で書かれている。	どの項目も消極的であり、感想やさらに学習したいことが書かれていない。